北海道地方

名前

問1　日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。
2. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。
3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。
4. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。

問2　北海道中央部を流れる石狩川の中流から下流域にかけて、かつて広く分布していた土地の名称を答えてください。この土地は、寒冷な気候により枯れた植物が十分に分解されないまま積み重なったもので、水分が非常に多く栄養分に乏しいという特徴があります。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 盆地
2. 三角州
3. 泥炭地
4. 台地

問3　北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。（2019年 静岡県公立入試 類似）

1. ウィルタ民族
2. アイヌ民族
3. 琉球民族
4. 大和民族

問4　日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 輸出用 — 脱脂粉乳や練乳
2. 加工用 — バターやチーズ
3. 地場消費用 — ヨーグルトや生クリーム
4. 飲用 — 牛乳やコーヒー牛乳

問5　1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。
2. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。
3. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。
4. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。

問6　日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。（2023年 福井県公立入試 類似）

1. 大阪市
2. 札幌市
3. 金沢市
4. 宮崎市

問7　北海道の農業の特色について述べた文として、生乳の利用状況に着目して説明したものとして正しいものを選びなさい。（2019年 静岡県公立入試 類似）

1. 冷涼な気候を活かして乳牛の飼育が行われているが、生乳の生産よりも食肉用の肉牛の飼育が統計上の大半を占めている。
2. 生乳の生産量は多いが、そのほとんどは自家消費や道内での流通に限られており、加工品としての道外出荷は少ない。
3. 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。
4. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保った飲用牛乳を都市部に供給する近郊農業が酪農の主流となっている。

問8　北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）

1. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。
2. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。
3. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通って日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。
4. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。

問9　北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な用水路が建設された。
2. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。
3. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。
4. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。

問10　北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 農林水産業を主体とする第一次産業
2. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業
3. 製造業や建設業を主体とする第二次産業
4. 商業やサービス業を主体とする第三次産業

問11　北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから
2. 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから
3. 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから
4. 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから

問12　明治時代、ロシアなど北方からの脅威に備える警備と、北海道の土地の開拓を同時に行う目的で送り込まれた兵士とその家族を何と呼びますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 防人
2. 守護代
3. 屯田兵
4. 開拓使

問13　水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。（2019年 岡山県公立入試 類似）

1. 栽培漁業
2. 養殖業
3. 遠洋漁業
4. 沖合漁業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。	北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模な経営が特徴です。統計資料によると、北海道の耕地はその多くが牧草地であり、そこで生産される生乳の約8割以上がバターやチーズなどの加工用原料に充てられています。これは、都府県の生乳が主に鮮度が重視される飲用として利用されている状況とは対照的です。
問2	答え 3 泥炭地	石狩川流域の低地には、植物の遺体が長年かけて堆積してできた泥炭地が広がっていました。泥炭地はスポンジのように水分を多く含み、農作物の栽培には適さない不毛の地とされていましたが、明治時代以降の開拓において重要な開発対象となりました。
問3	答え 2 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サッ・ポロ・ペツ』に由来しています。
問4	答え 2 加工用 — バターやチーズ	北海道で生産される生乳の約84%は、バターやチーズなどの原料となる「加工用」として利用されています。これは生乳のままでは長距離輸送の間に品質が低下してしまうため、保存性を高めた乳製品に加工する必要があるからです。対して、都市に近い産地では、ほぼすべての生乳が「飲用」としてそのまま出荷される傾向にあります。
問5	答え 2 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。	かつての北海道を支えた炭鉱などのエネルギー産業が衰退したことで、それらの地域から人口が流出し、代わって第3次産業（サービス業や小売業）が成長した札幌市に人口が吸収されました。このように、特定の都市に人口や経済機能が突出して集まる現象は、地方における一極集中の典型的な事例として挙げられます。札幌市の人口規模は1950年代の数倍に達しており、北海道の総人口の約3割から4割近くを占めるに至っています。
問6	答え 2 札幌市	北海道に位置する札幌市は、高い緯度の影響で冬の寒さが非常に厳しく、1月の平均気温が氷点下となります。同じ日本海側に位置する金沢市などは、冬の季節風の影響で降水量（降雪量）が非常に多くなりますが、札幌市はそれらの都市と比較すると1月の降水量は少なめの数値を示す特徴があります。
問7	答え 3 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。	北海道の酪農は、広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な経営が特徴です。生乳の総処理量は日本国内で圧倒的なシェアを占めていますが、その半分以上が「加工用」として処理されています。これは、大消費地から遠いという地理的制約を克服するために、バターやチーズなどの加工品に特化してきた歴史的な背景があります。
問8	答え 3 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通って日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。	北海道の日本海沿岸の気候に影響を与える主要な海流は、暖流の対馬海流です。寒流の千島海流（親潮）は、主に北海道の東部や太平洋沿岸を南下する海流であり、夏季に冷たく湿った空気がこの海流上で冷やされると濃霧が発生し、逆に日照時間を短くさせる原因となります。稚内付近の日照時間が長い理由は、高緯度による昼の時間の長さや、梅雨の影響が小さいといった要因によるものです。
問9	答え 2 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問10	答え 4 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主力的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問11	答え 2 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから	太平洋側の根室は、夏に千島海流などの寒流と南東からの季節風の影響で気温が低く抑えられます。一方、日本海側の札幌は、冬に対馬海流などの暖流の上を通る北西の季節風の影響を受けるため、降雪量が多くなります。
問12	答え 3 屯田兵	明治政府は、ロシアの南下政策に対する国防上の必要性と、広大な未開地の開発を両立させるため、1874年に屯田兵制度を設けました。主に士族（元武士）が家族とともに北海道へ渡り、厳しい自然環境の中で現在の札幌や旭川といった地域の発展の基礎を築きました。
問13	答え 1 栽培漁業	稚魚の時期は自然界において外敵に襲われやすく、生存率が非常に低いという課題があります。この期間を人間が管理する施設で保護してから放流することで、資源の回復を図ります。最後まで人間が管理して育てる養殖業とともに「育てる漁業」と呼ばれますが、最終的に自然の海へ戻す点が最大の特徴です。